



学位論文発表会

2025年度大阪大学比較文学研究室・テクスト環境論研究室

2/10 (火) 12:30-17:40

文法経本館 講義室464

2025年度 大阪大学 比較文学研究室 テクスト環境論研究室 学位論文発表会

日時 2月10日(火) 12:30-17:30

開催方法 ハイブリッド開催 聴講自由・予約不要

場所 対面：文法経本館講義室464

※対面参加は学内参加者のみ

オンライン：zoomを使用

ミーティングID 856 9072 1093

パスコード 244492



スケジュール

12:30-12:40 開会の辞

12:40-13:10 下村杏奈「ポーランドと日本のコロニアル・アンビバレンス
:ジョゼフ・コンラッドが導く比較研究」

13:15-13:40 王心懿「有島武郎「奇跡の咀」論
——障がい者表象をめぐって——」

13:45-14:10 鳥井口詠海「新しい国語科教材としての江戸川乱歩
「押絵と旅する男」——〈文学〉教育の意義を探って——」

14:10-14:30 大谷洸稀「マンガにおける絵物語、図解の引用——『新選組』
から「少女マンガ的表現」への接続を中心に——」

14:30-14:50 質疑応答

14:50-15:10 休憩

15:15-15:35 川端美里「戦後日本における少女たちのバレエ受容
——『赤い靴』から『くるみ割り人形』へ——」

15:40-16:00 西林美陽「運動と肉体美の交差点としての「泳ぐ女性」
——ハリウッドの人魚女優から海女の水中撮影へ——」

16:05-16:25 古部了大「「アトリエ文学」としての「金と銀」
:結節点としての画室」

16:30-17:00 橋本順光 「支配する声、すり抜ける歌——大河ドラマ
『黄金の日日』(1978)におけるフィリピンの
プロテストソング「バヤン・コー」の使用」

17:00-17:20 質疑応答

17:20-17:30 閉会

主催 大阪大学大学院人文学研究科 比較文学研究室・テクスト環境論
研究室

連絡先 比較文学研究室(内線2168)